

令和6年度　自己評価結果

開 智 幼稚園

1、本園の教育目標

あらゆる保育内容は子どもを中心に考案し、「子ども中心主義」に徹する。そして、快い刺激を与える保育カリキュラムによる知能が発達してゆく過程において、子ども達自身が意欲的に飽くなき挑戦をし、喜びを知ることで明日も来たいと感じてくれるような保育の実践をする。そして、子ども達の成長の手助けとなれるよう信頼関係を築きながら、共に楽しく生活していくよう、配慮した幼児教育を目指す。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領を踏まえて、教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、預かり保育の充実を図り、幼稚園が今後担う役割について検討する。新園舎が完成し、新しい環境に職員、園児とも戸惑うこともあるかと思うが、安全で安心して子ども達が楽しく活動できるよう、保育に当たりたい。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成、実施に関して 教職員間の共通理解をはかる。	今年度も引き続き、幼稚園教育要領の理解を全教職員で推進し、日々の保育を展開していく中で、問題点等あれば話し合いを行っている。
幼稚園の状況を踏まえて中、長期的なビジョンと計画を策定する。	長期休業日の預かり保育のさらなる充実を図る。そして、令和7年度から認定こども園への移行をするための準備をし、11時間開園し保育を実践していくことで、保護者や地域の方々に受け入れられる園になっていくよう、安全対策をしっかりと講じて、安心できる保育の実践をしていきたい。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	園内での研修や意見交換をしながら、子ども達が安全で安心して保育を受けられる環境を作り、外部講師を招いて専門知識の研修に取り組んだことで、職員の質の向上を図ることができたと思う。そして、今年度も引き続き成長の遅い子の支援を心理士の先生による巡回指導と助言をいただき実践してきた。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。	新園舎となり保育参観や運動会、生活発表会などの行事においてスムーズに実践できたことは良かったと思う。また、保護者の方から「新園舎の設備も充実していて素晴らしい」というお褒めの言葉をいただけた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度も取り組むべき課題を具体的に示し、全教職員が共通に理解し、各自が自己評価を行ない、本園としての方針を明確にすることができた。そして、新園舎で保育を実践していく中で、改善点が見つかったので、その都度建設会社と打ち合わせをし改修作業を行っていただき、園児達が快適に保育できる環境に整えていくことができたのは良かった。そして、園児募集においても年少児を予定通り受け入れられたことも良かった。園児が適正に集まり総合的な評価を得られるよう、今後も全職員で頑張っていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者の対処や災害時の対処など、色々な情報が大阪府、交野市、大阪府警、交野市消防署から、随時提供されるので、素早く対応できるように、教職員が常に危機管理の意識を持ち、日々の保育にあたるよう努める。そして、バスの車内確認装置をついているが、最終確認は、人による目視を忘れないように気をつけていきたい。
特別支援教育	今年度も巡回指導対象園児が数名いるので、交野市こどもゆうゆうと連携をとりながら、専門家の指導や研究会に積極的に参加して、職員の特別支援教育に関する知識や指導技術の向上を図っていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	保育参観や懇談、園見学などを通して、保護者の方が期待し望んでいる事を把握し、そのニーズに応えられるようしていきたい。そして、両親とも就労する家庭が多くなっているので、次年度からは、11時間の保育を実践し、認定子ども園への移行を計画している。

6. 学校関係者の評価

交野市内の小学校、中学校の先生との懇談において、開智幼稚園の卒園児は意欲的に授業に取り組み、椅子にきちんと座り態度も素晴らしいとお褒めの言葉をいただいた。そして、園見学にきた保護者の方からも園児がきびきびと行動していて、とても気持ちが良いという評価をいただいた。子ども達が自主的に動けるよう、日々の保育を大切に実践していきたい。

7. 財務状況

公認会計士により、適正に運営されていると認められている。